

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	北本市中心市街地の活性化		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	北本市
計画の目標			

大目標：まちと人とみどりが心地よく交流する魅力あるまちづくりの推進  
 目標1：都市施設の改善、整備を進めることにより、人々が安全で快適に暮らし、活動し、楽しむことのできるまちづくりを推進する  
 目標2：豊かな里山の緑や周辺環境をまちの重要な資源とし、それらの連携を強化することにより、みどりのネットワークを形成する  
 目標3：地区の資源を活用した情報発信等を図り、地域住民と来街者が交流する機会や場を充実することにより、新たな発見を生み出すまちづくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・市民意識調査において市街地の整備に対する満足度を12.7%（H23当初）を15.0%に上昇
- ・道路交通体系の整備に対する満足度を17.6%（H23当初）を20%に上昇
- ・一人当たり公園面積を5.3㎡（H23当初）から5.4㎡（H27末）に向上
- ・都市基盤が整備された良好な市街地の比率（H23当初15.0%）の向上（H27末19.7%）

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
本市で調査している市民意識調査において、市街地の整備についての満足度割合	12.70%	13.50%	15.00%	
本市で調査している市民意識調査において、道路交通体系の整備についての満足度割合	17.60%	18.50%	20%	
一人当たり公園面積 = 総公園面積 / 総人口	5.3㎡	5.3㎡	5.4㎡	
都市基盤が整備された良好な市街地の割合 = Σ（対象地区面積×使用収益開始率） / Σ（対象地区面積）	15.0%	17.8%	19.7%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	889.8百万円	A	719.8百万円	B	0百万円	C	170百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.11%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	--------	---------------------------	--------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成30年1月
社会資本総合整備計画の事後評価として北本市で実施	公表の方法
	北本市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業										全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						
									H23			H24	H25	H26	H27
1-A-1	都市再生	一般	北本市	直接	北本市	北本駅周辺及び西中央通沿線地区都市再生整備計画事業	A=7,700㎡	北本市						351.7	
1-A-3	公園	一般	北本市	直接	北本市	吸収源対策公園緑地事業(中央緑地周辺地域)	整備面積:0.8ha	北本市						101.3	
1-A-4	街路	一般	北本市	直接	北本市	久保地区(都)西伸通線 外	区画整理A=44.0ha	北本市						0	
1-A-5	街路	一般	北本市	直接	北本市	久保地区(都)久保大通線 外	区画整理A=44.0ha	北本市						266.8	
合計										719.8					

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
合計															

番号															備考
1-B-1															

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	施設整備	一般	北本市	直接	北本市	圏央道掘削部蓋掛け事業	BOX構造L=210m、W=27.3m	北本市						170.0	
合計										170.0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	蓋掛け上部の一部を都市再生整備計画事業（1-A-1）、公園事業（1-A-3）及び街路事業（1-A-4、1-A-5）と一体的に実施し、公園・緑地等として整備し、緑地の保全に配慮し、みどりのネットワークを形成する。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・都市再生計画事業による駅前広場改修、道路整備・修繕等及び久保特定土地区画整理事業を推進し、市民意識調査での市街地の整備についての満足度割合の向上が図れた。
- ・都市再生計画事業による道路整備・修繕等及び久保特定土地区画整理事業を推進したが、市民意識調査での道路交通体系の整備についての満足度割合は低下した。
- ・吸収源対策公園緑地事業（中央緑地周辺地域）により民有雑木林の用地を取得し、都市緑地として整備を行い一人当たり公園面積の向上が図れた。
- ・久保特定土地区画整理事業を推進し、都市基盤が整備された良好な市街地の割合の向上が図れた。

II 定量的指標の達成状況

指標①（本市で調査している市民意識調査において、市街地の整備についての満足度割合）	最終目標値	15%	目標値と実績値に差が出た要因	北本駅周辺及び西中央通沿線地区の都市再生計画事業による駅前広場改修、道路整備・修繕等及び久保特定土地区画整理事業を推進し、市民意識調査での市街地の整備についての満足度割合が向上したが、市民は様々な側面から市街地整備に期待をしていると考えられ、目標値を達成できなかった。
	最終実績値	13.7%		
指標②（本市で調査している市民意識調査において、道路交通体系の整備についての満足度割合）	最終目標値	20%	目標値と実績値に差が出た要因	北本駅周辺及び西中央通沿線地区の都市再生計画事業による道路整備・修繕等及び久保特定土地区画整理事業を推進したが、市民意識調査での道路交通体系についての満足度割合は低下した。市民は市域全体における道路交通網の整備など、より大きな期待をしていると考えられ、目標値を達成できなかった。
	最終実績値	16.3%		
指標③（一人当たり公園面積＝総公園面積／総人口）	最終目標値	5.4㎡	目標値と実績値に差が出た要因	本計画による中央緑地の整備（568㎡）のほか、市の単独事業等により6か所の公園整備（45,286㎡）を実施し、目標値を上回る実績となった。
	最終実績値	6.2㎡		
指標④（都市基盤が整備された良好な市街地の割合＝Σ（対象地区面積×使用収益開始率）／Σ（対象地区面積））	最終目標値	19.7%	目標値と実績値に差が出た要因	本計画による久保特定土地区画整理事業を推進し、良好な市街地が形成され、使用収益開始率が向上し、目標値を上回る実績となった。
	最終実績値	20.9%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
（必要に応じて記述）

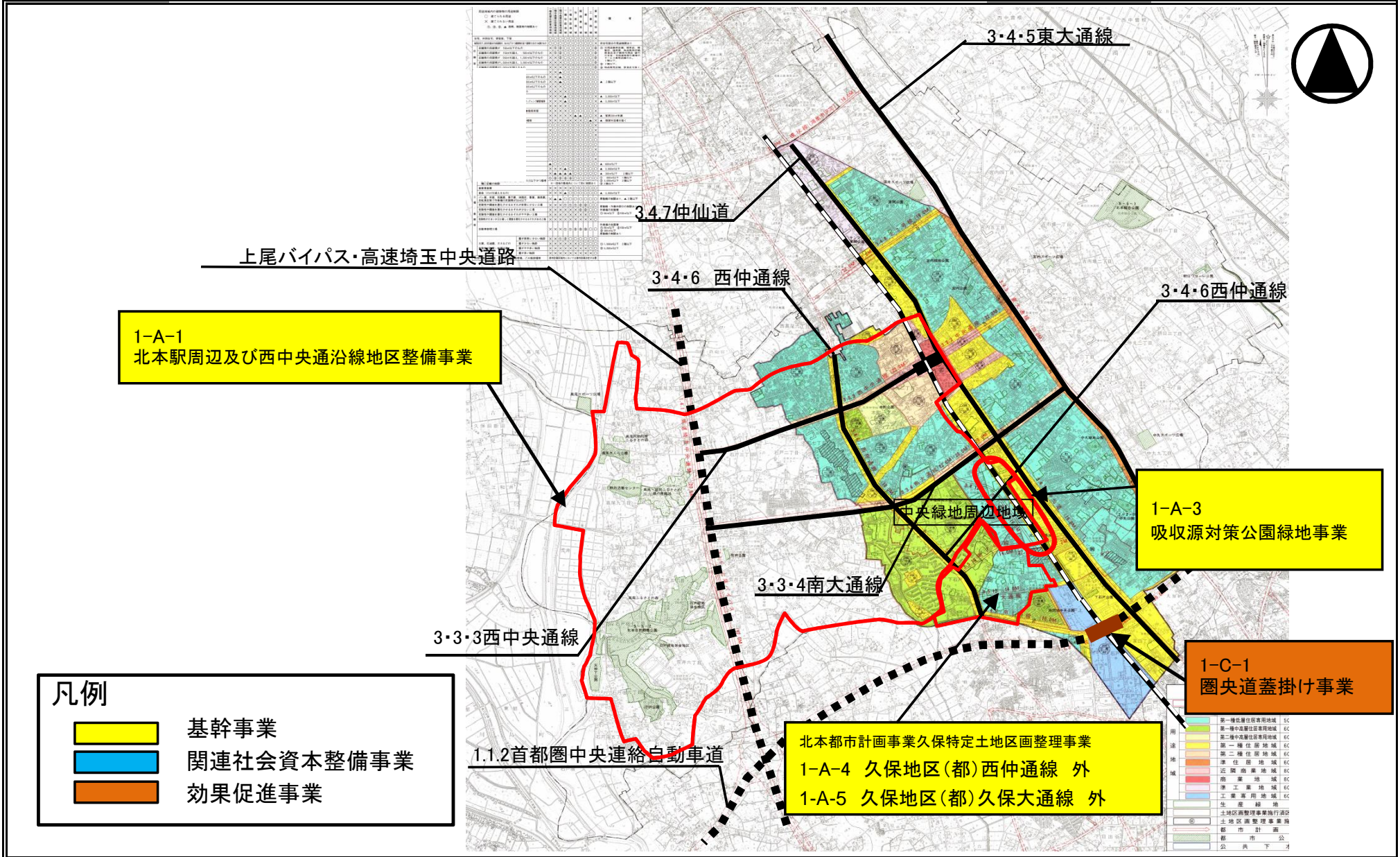
北本駅西口駅前広場が高質のデザインに更新され、また北本駅自由通路エレベーター、北本西口広場がバリアフリー化された。またJR高崎線沿線で唯一残されている雑木林である北本中央緑地について、都市緑地として整備を行い、吸収源の保存を図るとともに、みどりのネットワークの形成が向上した。

3. 特記事項（今後の方針等）

久保特定土地区画整理事業は、埼玉県の社会資本総合整備計画の中で引き続き推進していく。  
 吸収源対策公園緑地事業（中央緑地周辺地域）は、計画を更新して、引き続き整備を進めていく。  
 圏央道掘削部蓋掛け事業は、蓋掛け上部の一部を公園として整備を進めていく。

# 市街地整備

計画の名称	北本市中心市街地の活性化		交付対象	北本市
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)			



1-A-1  
北本駅周辺及び西中央通沿線地区整備事業

1-A-3  
吸収源対策公園緑地事業

1-C-1  
圏央道蓋掛け事業

北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業  
1-A-4 久保地区(都)西仲通線 外  
1-A-5 久保地区(都)久保大通線 外

**凡例**

- 基幹事業
- 関連社会資本整備事業
- 効果促進事業

第一種低層住居専用地域	SC
第一種中高層住居専用地域	CC
第二種中高層住居専用地域	CC
第一種住居地域	RC
第二種住居地域	RC
準住居地域	RC
近隣商業地域	RC
商業地域	RC
準工業地域	RC
工業専用地域	RC
生産緑地	RC
土地区画整理事業執行済地区	RC
土地区画整理事業実施中地区	RC
都市計画	RC
都市公	RC
公共下	RC